

ellipse

[エリプス]

TOPICS

公開講演会

「世界に恋して：異文化へ飛び込もう！」

(たかの てるこ さん)

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

女性の力を、もっと世界に。

—お茶の水女子大学のグローバル人材育成推進事業—

企画展「日本初の女子大学生誕生 100年

黒田チカと牧田らく」より

—お茶の水女子大学の女性研究者支援—

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報

事務局よりお知らせ

公開講演会のご紹介

「世界に恋して：異文化へ飛び込もう！」



日時：2013年10月7日 15:00～16:30

講師：たかのてるこさん

主催：お茶の水女子大学グローバル協力センター

参加：133名

お茶の水女子大学は、「社会との間で望ましい知の循環を実現することによって、社会的使命を果たしていく」と大学憲章にうたっており、公開講演会やシンポジウムを積極的に開催して大学の活動を分かりやすく社会に発信していくことに努めています。

今回はその中から、グローバル協力センター（注*）が「グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成」事業の一環として行った、旅人・エッセイストのたかのてるこさんの講演会を紹介します。

旅好きが高じて、会社を辞めて〈旅人・エッセイスト〉に転身した経歴を持つたかのさんにとって、旅はライフワークであり、「生涯の友」とすらいえる存在です。

ご自身が制作した旅番組のDVD「恋する旅人 さすらいOLインド編」「モロッコで断食（ラマダーン）」「ジプシーに恋して」の一場面を紹介しながら、旅先でのエピソードやハプニング、旅の際に大切にしていること、旅から学んだことなどについて話してくださいました。

たかの流「旅」のポイント1： 言葉の壁にめげない

たかのさんの旅の映像でまず印象的なのは、何といっても笑顔がたくさん出てくること。

ジェスチャーを交えながら、ある時は片言の英語で、ある時には辞書を片手に、出会う人々に自分から話しかけます。多少会話が成り立たなくても、「ハートで話せば、気持ちは通じるはず！」と決してあきらめません。想像力をフルに働かせながら、彼らの文化に寄り添い、いつしか「友達」になっています。「笑顔は万国共通だし、仲良くなりたいという気持ちはどちらも一緒だから」。

「国際交流」の第一歩は、そんな素朴なコミュニケーションから始まるのかもしれないと感じました。



【講師プロフィール】

「世界中の人と仲良くなれる！」と信じ60カ国を駆ける旅人。

映画会社・東映のTVプロデューサーとして数々の番組を制作する傍ら、世界各地の紀行エッセイを出版するなどユニークな活動を展開。

代表作「ガンジス河でバタフライ」「ダライ・ラマに恋して」「ジプシーによろこそ！旅バカOL、会社卒業を決めた旅」（すべて幻冬舎文庫）など著書多数。

2011年、東映を退社し独立。以後、世界の人々の魅力を伝える、ラブ&ピースな“地球の広報”として、テレビ、ラジオ、出版、講演等で幅広く活動中。

たかの流「旅」のポイント2： 脱・観光！脱・ツアー！

「観光地ばかり回っている、普通に暮らしているよき人に巡り会えない」「ツアーでは、スケジュールに縛られ仲良くなる時間もない」とおっしゃるたかのさんの旅は、名所旧跡巡りよりは、その土地で普通に日常生活を営む人々との触れ合いがメインなのだそうです。

モロッコでは、ミントティーを買いにいったお店で、いつしか一緒に踊ったり、食事をしたり、モロッコの先住民族であるベルベル人の女性におしゃれを教えてもらったり・・・、気が付いたら8時間以上が経過していました。ふらりと立ち寄った旅人を温かく迎え、その日の仕事を中断してもてなし、共に楽しむ人々との一期一会の出会いが、たかのさんにとって時間には変え難いものです。

モロッコでは「断食（ラマダーン）」にも遭遇しました。日の出から日没まで飲食を断つことによって食べられることのありがたみを知るというイベントは、効率優先の価値観にはそぐわ



* グローバル協力センター：お茶の水女子大学は「女子教育を通しての国際協力」を実施可能な貢献と考え、その活動拠点として、2003年7月に開発途上国女子教育協力センターを設置しました。2008年4月からはグローバル協力センターと名を改め、アフガニスタン支援をはじめとして、困難な状況にある開発途上国に対して何が出来るかを調査し、研究し、実践することを目指した活動を行っています。

ないものかもしれません。けれども、自身で実際に体験してみると、イスラム教徒が経済性よりも精神文化をととても大切にしているという事実が胸にすんと落ちたそうです。

たかのさんの旅は、一見無計画にも見えますが、次の予定を気にせず相手の懐に飛び込んでみることによって、得られるものがあることを教えてくれます。

たかの流「旅」のポイント3： なるべく長く（できれば一週間以上）滞在する

海外に旅行に出かけ、カルチャーショックで嫌な思いをしたという人には、滞在期間が短い人が多いのだそうです。

住む場所や暮らし方が違えば、感覚や価値観が違うのは当たり前。例えば、「すぐ近く」という表現一つをとっても、水道や交通網の整備された日本に暮らす私たちと、毎日大きな水瓶をかついで何キロも歩いて水を汲みにいくインドの村で暮らす人々との間には大きな隔りがあります。一週間以上滞在して、そこに住む人の感覚や価値観になじんで初めて分かることもたくさんあるのです。

たかのさんの場合、ルーマニアにジプシー（ロマ民族）を訪ねて二週間共に暮らしたことが、OLを辞めるきっかけになりました。

世界中に約1200万人いるといわれるジプシーは、国によって呼称も異なり、差別的な扱いを受けている場合もありますが、たかのさんの出会ったジプシーは、派手な服装に身を包み、喜怒哀楽をストレートに表現し、自分の思ったとおりに行動する人々でした。さすがに最初は「こんな人たちがいたのか」とショックを受けたそうですが、本音と建て前のない世界で、今に全力投球する彼らの姿を見ているうちに、「本音で生きるって気持ちいい！」という気持ちが芽生えてきました。人間の心配の多くは過去や未来に対するものであること、だとすれば、



公式 HP <http://takanoteruko.com/>

「今に全力投球」することで、心配はなくなることに気づかされたといいます。

旅から帰って考えました。「変えようと思っても、変えられないのが個性。自分が旅を好きな気持ちは変わらない。だったら、自分の個性を伸ばすしかない！心配するのはやめて、いつも今に全力投球しよう！」と。

会社を辞めて、世界の人々のすばらしさを伝える“地球の広報”として生きる覚悟が決まりました。

そうして世界を旅し、改めて実感したのは、自分の価値観だけが正しいわけではないこと。「価値観というのは、どんな国に生まれるかによって違ってくるので、正しい、正しくないとは言い難いもの。みなさんもぜひ、でっかい視野で地球を旅してみてくださいね！」とたかのさんは笑顔でおっしゃいました。

少し早口の関西弁で次々と繰り出されるユニークなお話しに会場は笑いっぱなし。楽しい旅のお話しを通して、国際交流や平和構築のヒントと一緒に、元気まで分けていただいたような素敵なひとときとなりました。

（協力：たかのてるこさん、お茶の水女子大学グローバル協力センター）

講演会で紹介されたDVD

- ◆「恋する旅人 さすらいOLインド編」
（カラー70分（本編）3,800円）
- ◆「銀座OL世界をゆく！①モロッコで断食（ラマダーン）」
（カラー70分（本編）3,800円）
- ◆「銀座OL世界をゆく！⑤ジプシーに恋して」
（カラー72分（本編）3,800円）

※価格はすべて税別



著書

紀行エッセイ（幻冬舎文庫）

- 『ガンジス河でバタフライ』（648円）
- 『サハラ砂漠の王子さま』（571円）
- 『モロッコで断食』（533円）
- 『モンキームーンの輝く夜に』（571円）
- 『ダライ・ラマに恋して』（600円）
- 『キューバでアミーゴ！』（648円）
- 『ジプシーによろこ！旅バカOL、会社卒業を決めた旅』（686円）

日常のエッセイ（講談社文庫）

- 『淀川でバタフライ』（676円）

※価格はすべて税別



女性の力を、もっと世界に。

—お茶の水女子大学のグローバル人材育成推進事業—



「グローバル化」や「グローバル人材」といった言葉が社会で広く言われるようになり、みなさんもこれまで何となく耳にしたことがあると思います。グローバル人材育成推進事業とは、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な舞台上で活躍できる人材を育成するという目的で、国が大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進しているものです。

お茶の水女子大学では、平成24年度よりグローバル人材育成推進事業タイプA（全学推進型）に採択され、「グローバル人材育成推進センター」を設立して、様々なプログラムを企画し行っています。主に、学生のみなさんの留学相談や推進、留学に必要な英語習得のための多様なプログラム開発、グローバルを体感できるセミナーやシンポジウム等の企画があります。

今回はその中から、平成25年度に実施した、お茶大にいながらでもグローバル体験できる取り組みを2つ紹介します。

1. 英語によるサマープログラム（公開講座）

日本の学生が英語による授業を受講しながら海外の学生と交流することを目的としています。この講座は、単位互換に基づく他大学の学生、および科目等履修生として学外の方にも公開しています。3回目となった昨年度（平成25年8月1日～8月9日に実施）は、3つのテーマ（社会政策、自然科学、文化芸術）に分かれて授業が行われ、100名以上の方が履修・聴講しました。海外の提携校からは、18カ国、55名が参加し、活発なディスカッション、グループワーク、フィールドワーク（野外活動）が繰り広げられました。

参加者からの声（スロバキア共和国スロバキア工科大学）
 「今回の素晴らしい機会に参加できて大変感謝しています。このプログラムのおかげで私の英語のスキルが向上するとともに、勉強への意欲も高まりました。次回にも参加したいと、今から切望しています。」



◆ 授業風景



◆ ウェルカムパーティー

2. 学部生の英語による研究発表（GREAT-Ocha）

学部3年生に、卒業論文等の研究テーマを英語で発表してもらい、それについて海外大学と学内の教員がコメントや助言を提供することを目的としています。平成25年11月16日～17日の2日間にわたり、第1回 GREAT-Ocha（Global Research Exchange at Ochanomizu University）が開催され、お茶の水女子大学から3名、都内女子大学から2名、米国から2名の計7名の学生が、コメンテーターに米国の大学教員2名、当センターの教員4名が参加しました。また、2日目にはネットワーキングセッションとして、日米の学生が、みずからの学生生活について発表し、それぞれの生活や社会制度の違い、さらにグローバル化の可能性を議論しあいながら交流を深めました。

世界がある
あなたの思想の中に
聴衆、大歓迎！！
卒業生のアイデア
英語での発表
シンポジウム
GREAT-Ocha
 Global Research Exchange at Ochanomizu University
 委員長 島田静雄 (お茶の水女子大学・生活科学部)
 副委員長 藤原 悠 (お茶の水女子大学・文教育学部)
 企画委員 阿部 悠 (お茶の水女子大学・文教育学部)
 阿部 悠 (お茶の水女子大学・現代教養学部)
 藤原 悠 (お茶の水女子大学・現代教養学部)
 ◆ 学部生による英語での研究発表
 ◆ テーマ 「異文化どうしの視点で紐解くこと」
 ◆ アメリカの2女子大、都内の女子大からも参加
 ◆ 英語で行われます
 2013年11月16日：9:15～17:30
 17日：9:15～12:15
 17日：12:15～14:00 ネットワーキングセッション
 時間：場所：お茶の水女子大学 本館103室
 主催者：http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/great_ocha.html
 要・要費申し込み：グローバル人材育成推進センター 留学センター 3階103室 伊藤 彩
 Email: great-ocha@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学は、国立大学として長年、女性教育に貢献してきた実績を持っています。今後は国際的に活躍する女性リーダーを育成する使命を果たしていくことを目標としています。これからも学生の積極的な参画を期待しています。

詳しくは

お茶の水女子大学のグローバル人材育成推進事業構想
http://www.ocha.ac.jp/ocgl/sympo/ocha_j.pdf
 お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センターHP
<http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/>

（グローバル人材育成推進センター 市川詠子）

企画展 「日本初の女子大学生誕生100年 黒田チカと牧田らく」より —お茶の水女子大学の女性研究者支援—

【会場】お茶の水女子大学歴史資料館（大学本館 121・136 室） 【会期】2013 年 10 月 15 日～11 月 8 日



1913（大正 2）年、東京女子高等師範学校から日本初の女子大学生が誕生しました。東北帝国大学（現：東北大学）が女性に門戸を開き、卒業生の黒田チカ（1884-1968、化学）と牧田らく（1888-1977、数学）が入学したのです。日本の大学に女性が入学したのは初めてのことであり、極めて画期的なことでした。

2013 年は日本に女子大学生が誕生してからちょうど 100 年にあたりました。そこで約 50 点の写真パネルと当時の資料を通して、女子大学生誕生秘話、それぞれの人物像と業績、お茶の水女子大学開学の経緯と現在の様子などを紹介する特別展が開催されました。

*

国立（官立）の女子の最高学府として東京女子師範学校が設立されたのは 1875（明治 8）年。当時はそのような教育機関が他になかったため、教職を目指すだけでなく、学問研究や

他の専門職を志す気概に溢れた女性たちが全国から集まり、黒田や牧田、日本で初めての女性博士となった保井コノ（1880-1971）や国際的に活躍した湯浅年子（1909-1980）ら数多くの先駆的な女性研究者を輩出してきました。

現在のお茶の水女子大学は「高度な専門教育を担う教育者を育てる基盤として研究を重視する」という創立当初からの伝統を受け継ぎ、「すべての女性とその年齢・国籍等にかかわらず、個々人の尊厳と権利を保障され、自由に自己の資質能力を開発し、知的欲求の促すままに自己自身の学びを深化させること」を目標に掲げ、高度な教養と専門性を備えた研究者、広くは女性リーダーを育成する様々な取り組みを積極的に行っています。

今回は展示パネルの中から、お茶の水女子大学の女性研究者支援についてのインタビューをご紹介します。

◆ 海外留学・研究支援制度を利用してフランスに留学中

大塚美穂さん

（人間文化創成科学研究科 理学専攻化学・生物化学領域博士後期課程 1 年）

Q：現在、どのようなことを研究していますか。

A：量子化学を専門とし、現在は DNA 挿入下のルテニウム錯体の発光に関して研究を行っています。DNA に欠陥がある場合において強く発光する錯体の設計を目指しています。その成果は、例えば、がんの早期発見など化学診断における応用が期待されます。

Q：お茶の水女子大学の研究支援制度を活用し、どのような活動をしていますか。

A：主に海外留学・研究支援制度を積極的に利用しています。例えば、「平成 23 年度若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム」を利用して、ドイツのプツパータル大学へ研修留学に行き、化学分野の授業を受けることができました。また、「平成 24 年度組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」では、イタリアで開催された国際学会に参加し、英語でポスター発表を行いました。このような活動を通じて、外国の研究環境を知り、多国籍の研究者と触れ合う機会に恵まれました。そこでは、グローバルに活躍する研究者に不可欠な国際感覚を身に付けることができました。そして、8 月末より「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」を利用して、フランスのストラスブル大学にて、半年間の研究活動を行います。このように、本学大学院では海外留学・研究支援制度が充実しています。アカデミックな活動範囲を海外に広げることができたという点で非常に有難く思っています。

（2013 年 8 月インタビュー）

◆ 女性研究者支援制度を利用して 子育てと研究を両立し、研究者の道へ

大槻曜生さん

日本女子体育大学附属基礎体力研究所 助教（平成 24 年度みがかずば研究員）

Q：現在、どのようなことを研究していますか。

A：運動と循環について研究しています。筋の物理的な変化（メカニカルストレス）が当該部分と中心（心臓）の循環に与える影響を、筋収縮による代謝応答と切り離して捉えることを考えています。将来的には、現代の子どもの身体特性を理解する方法と体力・運動能力の維持向上のあり方について、循環系を切り口に社会に役立つ研究も行いたいと思っています。

Q お茶の水女子大学の女性研究者支援制度をどのように利用しましたか。

A：特別研究員制度〔通称：みがかずば研究員〕を活用しました。博士号取得後、専任の職がない中、大学の研究員としての身分と所属を得たことにより研究を継続することができました。学内で場所や機材等の実験環境を整えることができましたし、学内外の関係の方々にも共同研究者や協力者になってもらうことも支障なくできました。また、私は博士後期課程在学中に出産したため、研究を一時中断しました。そのため、研究員採用後に実験を行うことは久しぶりで、測定技術を忘れていたことが不安でしたが、研究環境を与えられたこと、研究員に選んでもらえたことに勇気を得て進めることができました。また、一時現場から離れていたため、それまで持っていた感覚が無くなったことを感じましたが、そこから戻るためのきっかけをくれたのが特別研究員制度です。

（2013 年 9 月インタビュー）

◆ お茶の水女子大学の使命とは何か

鷹野景子先生

（副学長兼附属図書館長 学術・情報機構長）

Q：お茶の水女子大学の使命とはいかなるものでしょうか。

A：「学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場として存在する」ことが本学の使命であり、永年に亘って女子教育を担ってきました。明治 8（1875）年創立の東京女子師範学校時代より、高度な専門教育を担う教育者を育てるための基盤として研究を重視し、研究と一体化した教育を大切にしてきました。女性研究者支援や女性リーダー育成に力を入れていますが、今後も女性の活躍促進を牽引し続けることが、本学の重要な使命であると考えています。

Q：お茶の水女子大学の女性研究者支援の一つである「特別研究員制度」（通称：「みがかずば研究員」）は、どのような目的があるのでしょうか。

A：出産や子育てなどのライフイベントにより研究を中断した研究者に研究環境を提供することにより、復帰のきっかけを与えることを目的としています。お茶大出身者だけではなく、学外の研究者や外国籍の方でも応募することができ、実際に年齢・分野・キャリアも様々な方が採用されています。「みがかずば研究員」は常勤職ではありませんが、女性研究者にとってはポストに基づいた研究場所があるということが重要です。研究の継続を支援するこの取り組みが、女性研究者支援であると同時に、女性研究者が置かれている立場への理解や、女性の活躍促進に関する社会への問題提起にもつながると思っています。

Q：お茶の水女子大学では海外留学・研究支援に力を入れていますが、どのようなねらいがあるのでしょうか。

A：私自身が出産後に博士号を取得し、その後留学をした経験から、留学時期とライフイベントが重なる前の若いうちに留学できる制度の必要性を感じていました。女性は結婚や出産により留学を断念せざるを得ない場合が多々あるためです。本学では多彩な海外留学・研究支援制度を整備しています。自分自身のために時間が十分に使えるうちに外国語能力を高めたり、海外の研究者とのグローバルなネットワーク形成をしたりすることにより、将来につなげてほしいというのがねらいです。実際に、海外での研究や留学から帰ってきた学生からは、向上心が高まったり、国際的な場での活動に自信がつくなど、成長ぶりを実感します。

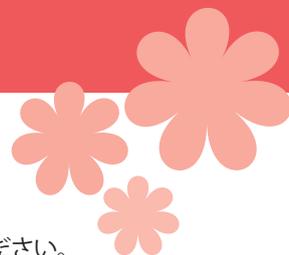
（2013 年 9 月インタビュー）

資料提供・編集協力：お茶の水女子大学 図書・情報チーム 情報基盤係

※黒田チカ、保井コノ、湯浅年子については、お茶の水女子大学デジタルアーカイブス「女性研究者名鑑」（<http://archives.cf.ocha.ac.jp/researcher.html?grid=menu>）もご覧ください。

※2014 年 3 月 31 日までは事前にお申込みがあればこの展示をご覧いただくことができます（ただし休館日、都合による非公開期間を除く）。

【連絡先】お茶の水女子大学 図書・情報チーム 情報基盤係 E-mail: shiryou@cc.ocha.ac.jp



お茶の水女子大学 イベント情報

2014年3月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2014年3月1日(土) 13:30～16:00	第4回お茶大保育フォーラム 「そばにいて育つ —お茶大附属『幼保』のかかわり—」(仮)	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 306 室 【主催】お茶の水女子大学 ECCELL (乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築) 【詳細】 http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/ 【問合せ・申し込み】 ECCELL 事務局 TEL:03-5978-5949 E-mail: nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp
2014年3月29日(土) 13:00～16:30 懇親会: 17:00～ (会費 3,000円)	第6回ネットリテラシーセミナー ～あなたのお子さんや児童生徒は大丈夫?～ 子どもにDSなどのゲーム機や、音楽プレーヤー、ケータイやスマホを持たせていますか? 子どもをもつ保護者や小中高等学校の教職員などを対象に子どもたちのネット利用の現状と育成したいネットリテラシーについて考えるセミナーです(70名)。講演および Twitter 社から活用事例発表を行います。	無料	【会場】お茶の水女子大学 【主催】一般社団法人 こどもコミュニティサイト協議会 お茶の水女子大学学校教育研究部 ICT 研究部会 【詳細】 http://c-coms.or.jp/ 【問合せ】E-mail: info@c-coms.or.jp TEL: 03-6869-0904 【申し込み】 http://c-coms.or.jp/ から3月26日(水)までにお申し込みをお願いします。
2014年4月～8月 (前期開講)	知の市場公開講座 公開講座ネットワークである知の市場は2014年度に全国37拠点で78科目を開講します。お茶の水女子大学において、2014年度前期に開講する4科目はCT534(サウジアラビア特論)、CT136(新規:規範科学事例研究1)、UT134(化学物質総合経営学基礎論)、UT516(新規:社会技術革新学基礎論)です。(詳細は知の市場 HP: http://www.chinoichiba.org/ 参照)	無料	【会場】お茶の水女子大学 【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)と知の市場 【募集】前期の受講者募集は2014年2月1日から開始 【受講応募申し込み】 ①受講者登録: HP: http://www.chinoichiba.org/ から登録してください。 ②科目応募申し込み: HP: http://www.chinoichiba.org/lwwchp/ から申し込みしてください。 【問合せ】知の市場お茶大事務局 E-mail: chinoichiba.kaiko@gmail.com

共催講演会のご案内 **参加費無料**

「ワークライフミックス～子連れスタイルでの発信」

講師: 光畑 由佳 氏 (有限会社 モーハウス代表)

〈講師プロフィール〉

お茶の水女子大学被服学科を卒業後、(株) パルコでの美術企画、建築関係の編集者を経て、1997年に2人目の子どもを出産後、電車の中での授乳体験を機に、「産後の新しいライフスタイル」を提案するため授乳服の製作を開始。「いいお産の日」(茨城、青山)の開催や自宅サロン等も通し、お産・おっぱいをサポートする「モーハウス」の活動を始める。2012年3月には、子育てをする母親だけでなく、幅広い世代の女性、男性、様々な人が集い、つながり、新しいムーブメントが生まれ出す場としての「mo-baco」をオープンさせた。子連れスタイルで子育てと社会を結びつけ、多様な生き方や育て方、働き方を提案する「子連れスタイル推進協会」や、母乳生活全般の研究活動を行う「快適母乳生活研究所」の立ち上げ、その代表を務める。三児の母。



母となった女性が
生き生きと暮らせる社会へ

NURSING FREEDOM
授乳服からはじまる自由

モーハウスは、おっぱいライフを快適にする授乳服を通じて、女性が自分らしいライフスタイルを確立し、エンjoyできるおっぱいをしたいと考えております。

モーハウス代表

光畑 由佳

【日時】 2014年4月19日(土) 13:45～15:45

【会場】 さいたま市「岩槻駅東口コミュニティセンター」4階
多目的ルームA (TEL 048-758-6500)

JR大宮駅で乗り換え。東武野田線大宮駅から岩槻駅(11分)下車。徒歩1分
岩槻はさいたま市の東部にあり江戸時代から人形の町として有名です。また城下町としての風情もあり、駅から歩いて城跡・土族屋敷・時の鐘などの史跡巡りもできます。

【主催】 桜蔭会埼玉支部

【共催】 お茶の水学術事業会

● 申し込み方法: ハガキまたはFAXで下記へ(締め切り3月31日消印有効)住所・氏名・電話番号をご記入ください。定員120名。

● 連絡先: 桜蔭会埼玉支部
〒330-0802 さいたま市大宮区宮町4-16
セイワアネックス2F
TEL: 048-649-5761 FAX: 048-641-0596
E-mail: seiwa0019@coral.ocn.ne.jp

*多くの皆様のご参加をお待ちしております。

夢のつばさプロジェクトニュース

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的に、2011年3月の震災直後から続けられている活動です。お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体が実施母体となっています。

2013年秋冬の活動

昨年度末までに、6回を数える宿泊型行事(夏冬長期休みに実施する3泊4日のキャンプ)を含め、現地に子どもたちを訪ねる春の交流会や保護者の方々と懇談会、孤児生徒の訪問など計12回の行事を行ってきました。

2013年の秋冬は、以下のような活動を行いました。続けて参加している子どもが心の内をポツリと語ることもあり、また子育ての日々を過ごすお祖母様や伯母様、ひとり親となったお母様方も、懇談会を心待ちにくださっているご様子です。微力ながらもこの活動を続けていく意義を感じています。

① 保護者懇談会並びに一関市教育講演会

【実施日時】2013年11月18日

【開催地】保護者懇談会(仙台市)、講演会(一関市)

【参加内訳】子どもの保護者7名、室伏きみ子、河野貴代美(心理カウンセラー、元お茶の水女子大学教授)、滝澤公子

【主な内容】今回は仙台を中心とした保護者の方々にお声をかけたところ、たくさんの方が参加がありました。被災の地に暮らしていらっしゃる方も、同じような境遇の方たちと話すことはそれほど多くないとのことで、河野貴代美先生の心をほぐす語りかけに応じて、すぐに活発な意見交換となりました。皆様それぞれに、肉親を亡くされたことで家の内外に表れてきたはずみに苦しみ、それを必死にこらえて過ごされている様子に、一同共感して涙したり、励ましあったり、最後は笑顔で再会を約束

してお別れとなりました。

当日午後3時からは、岩手県一関市にて、一関市教育委員会からの依頼による室伏きみ子お茶大名誉教授の講演会(幼・小・中・高・大学校長対象)が開催されました。ご参加の皆様は夢のつばさ♥プロジェクトについてもよくご理解くださり、共催行事のお申し出がありました。今後、春の交流会などの共同開催を検討したいと考えています。

② 2013年冬のクリスマスキャンプ

【実施期間】2013年12月21日~24日

【開催地】(株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)、青梅市民会館(青梅市)

【参加内訳】小学生18名、中・高生8名、大学生スタッフ40名、大人スタッフ16名(看護師を含む)

【主な内容】

12月21日	開会式、アイスブレイクゲーム
12月22日	朝の勉強会、夢のつばさ祭り(お店屋さん、縁日)
12月23日	料理実習(シチューとサラダ)、巨人生ゲーム、クリスマス音楽会(フルート・バイオリン・ピアノ)、(サンタさんがプレゼントを持って登場)
12月24日	閉会式、写真スライドショー、保養所の方々へ御礼

本活動については、次回詳しいご報告をいたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)



◆開会式



◆お祭りの準備



◆音楽会

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)ご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 Email:tsubasa@npo-ochanomizu.org

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

平成 26 年度共催講演会・助成金事業の受付について

お茶の水学術事業会では、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一環として、以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

参加予定人数 50 名以上の公開講演会に対して、講師のご紹介、謝礼金・交通費の一部助成などを行います。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

教育関係者または団体の行う以下の活動・事業に対して助成金（事業費の 2 分の 1 以内、1 件につき 10 万円まで）を支給します。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

【応募要項】お茶の水学術事業会HP (<http://www.npo-ochanomizu.org/index.html>) の「共催・助成金」をご覧ください。申請は随時受け付けていますが、規定数になり次第締め切らせていただきます。

【審査方法】理事会による書類審査を経て決定します。

【問合せ・申請先】お茶の水学術事業会事務局

Email : info@npo-ochanomizu.org

TEL : 03-5976-1478 (月～金 10 時～16 時)

「お茶の水女子大学 E-book サービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料で PDF 閲覧またはダウンロードできます。

◆ オンデマンド出版による製本版（有料）のご購入

「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book で注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>) よりご注文ください。（お申込みから納品まで 1 か月程度かかります。）

【Book List】

New! 『Java プログラミング入門』(2013 年 10 月)

著者：伊藤貴之 製本版価格：5,000 円

大学の講義資料を再構成。理工系学部の学部 1 年生が初めて計算機室でプログラミング科目に向かうことを想定して、プログラミングの初歩的な知識がまとめられおり、各章においてゲーム性のある親しみやすいサンプルプログラムを掲載し、遊びながらプログラミングに接することができるよう構成されている。

『近世日本の儒教思想—山崎闇齋学派を中心として』(2012 年 3 月)

著者：高島元洋、大久保紀子、長野美香

製本版価格：21,000 円 (2 冊組)

『古今和歌六帖全注釈 第一帖』(2012 年 3 月)

著者：古今和歌六帖輪読会 (代表：平野由紀子)

製本版価格：10,000 円

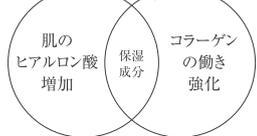
ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分 cPA (シーピーイー) は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。

雅Graceは cPA を配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子 (お茶の水女子大 教授) 監修

新成分
cPA
配合



売り上げの一部は、
大学へ寄附されます

雅Grace 定価 (税込)

グレイス化粧水 (150ml)	6,300 円
グレイス乳液 (100ml)	7,350 円
グレイス美容液 (30ml)	9,450 円

※写真は、グレイス化粧水 150mL です。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。

雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。

詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

お茶大ゴルフ 好評発売中!!



- 6袋 (計12枚) 入
- ばにら・ちょこ・いちご味
- 定価 600 円 (税込)
- 発送も承っております (送料はお客様負担となります)。

お茶の水ブックレット・お茶大ゴルフのご注文はお茶の水学術事業会事務局まで
E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

編集後記

「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない」(アインシュタイン) と頭では分かっている不安が先に立って躊躇してしまう。たかのお話には、そんな人の背中を優しく押しているようでもありました。日本の大学に女子が入学したことが、常識を破る大事件と騒がれてから 1 世紀。現在のお茶大は女性リーダーやグローバル人材の育成を目指す場でもあります。言葉に尽くせぬ苦労と努力を重ね、女子教育のたすきを今日に繋いだ先輩たちに改めて思いを馳せました。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2014 年 6 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ